

病害虫防除技術情報第6号

平成28年9月16日

三重県病害虫防除所

ダイズにおける吸実性カメムシ類の発生に注意しましょう！

1. 対象作物：ダイズ
2. 対象病害虫名：吸実性カメムシ類
(ミナミアオカメムシ、イチモンジカメムシ、ホソヘリカメムシ)

3. 発生状況と今後の予測

近年、伊勢平地域域ではミナミアオカメムシの発生が急増しており、ダイズの被害粒（子実の萎縮、変形、変色）や、青立ち症状の発生が著しく増加しています。

巡回調査（9月第2週）では、発生圃場率28.1%（平年22.3%）、寄生株率2.1%（平年1.8%）、寄生虫数0.8頭/25株（平年1.3頭/25株）と平年よりやや多い状況です。

また、松阪市設置の予察灯では、イチモンジカメムシおよびホソヘリカメムシの誘殺数は、平年並程度の状況ですが、ミナミアオカメムシの誘殺数は、8月第3半旬～9月第2半旬では1,170頭（6年平均666.0頭）と多い状況です（図）。

1か月予報（9月15日・名古屋地方气象台発表）によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。また、気温は高く、降水量は平年並か多い見込みです。

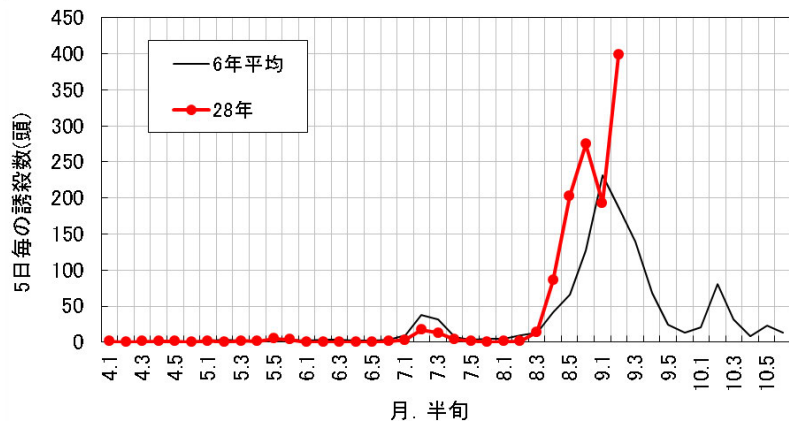


図. 畑地の予察灯におけるミナミアオカメムシの誘殺数
(松阪市嬉野川北町 100W水銀灯)

4. 防除対策

- (1) 薬剤散布は、①莢伸長期（開花20日後）と、②子実肥大中期（開花40日後）の2回散布を基本としてください。
- (2) 莢伸長期から子実肥大中期に生育している圃場では、吸実性カメムシ類が集中するおそれがあり、注意が必要です。
- (3) 2回散布ができない場合は、子実肥大初期（開花30日後）に薬剤散布してください。
- (4) 吸実性カメムシ類は移動性が高いため、無人ヘリなどによる広域一斉防除が効果的です。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。